

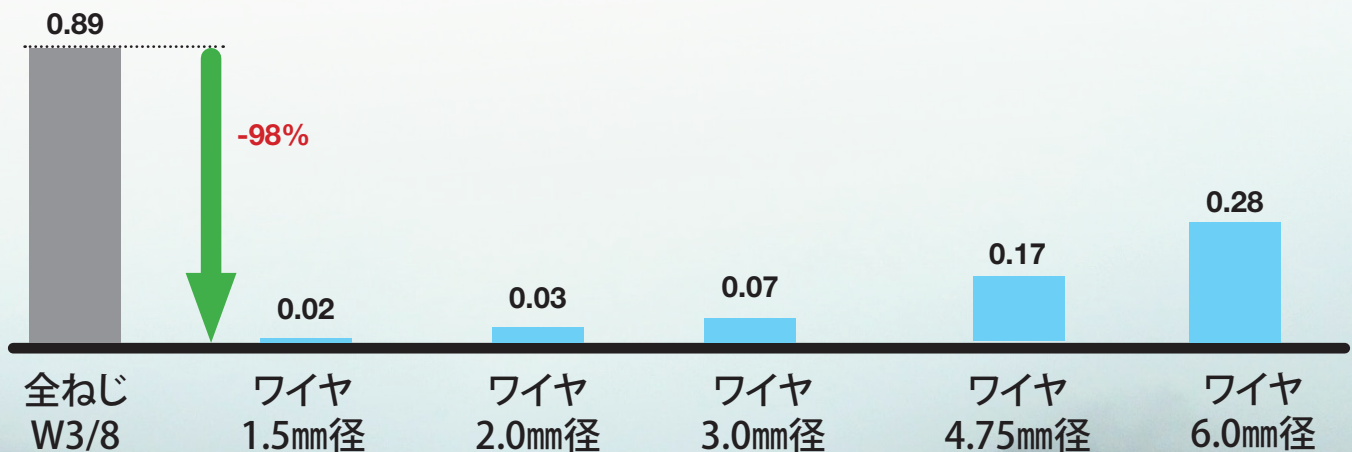
グリップルワイヤ工法

全ねじからワイヤへ

— CO2排出削減と部材の軽量化を同時に実現 —

- ダクトやケーブルラックなどのB種耐震振れ止めでは、例えば振れ止めピッチ間の対象物の総重量が79.6kg以下の場合、2mm径ワイヤを用いたグリップルの振れ止め工法は、W3/8全ねじを用いた振れ止めと同等の性能を発揮します。* 日本建築センターの一般評定を取得 評定番号 SS0042-01
- 上記ケースで、振れ止め用斜材がW3/8全ねじから2mm径ワイヤに置き換わると、斜材が必要とする鋼材の原材料は、1mにつき454g減り(W3/8全ねじが必要とする原材料量の97%に相当)、CO2排出量も97%削減できます。
* 世界鉄鋼協会ホームページ記載の内容に基づき、弊社で試算
- グリップル社はISO14001(環境マネジメントシステム)の認証を取得しています。

鋼材製造時に排出されるCO2量(kg/m)



部材の軽量化

総延長8,800m分の総重量比較

